

# バイオサーファクタント勉強会

## 設立趣旨

我が国はバイオサーファクタント（以下、BS）のパイオニアとして認知されており、世界各国の関係者からその動向が注目されている。化学品のバイオ化が世界の潮流となっている現在、バイオプラに代表されるバイオベース化学品への期待は大きい。プラスチックに次ぐファインケミカルである界面活性剤は、産業にとって欠かすことのできない化学品であり、バイオベース界面活性剤の普及も進んでいる。特に近年、微生物がつくる界面活性剤であるBSへの注目が集まりつつあり、今後の市場拡大が期待されている。

BSに関する研究は、1990年代以前から日本が先導してきた分野であり、世界に先駆けて国内企業が市場導入してきた。現在、国内5社が各社の特色を活かしたBS事業を展開している。2010年以降は、欧州を中心にグローバルリーディングカンパニーが参入し始め、既に水面下で世界市場の獲得に向けた競争が始まっている。背景には、SDGsやカーボンフットプリント等の枠組み・制度への対応がある。したがって、現時点のBS普及率は界面活性剤全体の0.1%程度に過ぎないが、今後の伸び率は高く予想され、国内企業にとっても世界の流れにのる大きなチャンスといえる。

産総研は、BS生産・利用技術の開発で研究成果を発信し、企業の活動を支援してきた。近年の動向をふまえ、国内企業の産業競争力強化を支援するためにも、今後、大学・研究機関を含む一体的な活動の役割は大きくなると考えられる。そこで、国内のBS関連機関が一堂に会して意見交換し、お互いのモチベーションを高め、将来的なBS研究・事業の活性化を目指す場となることを期待して本勉強会を設立する。

2023年3月10日 発起人：産総研 森田友岳

## 設立コアメンバー（7組織）

【官】産総研（材料・化学領域）

【産】東洋紡株式会社  
サラヤ株式会社  
株式会社カネカ  
磐田化学工業株式会社  
アライドカーボンソリューションズ株式会社

【学】慶応義塾大学